

読書のすすめ

図書委員会報告

その11 R1 5/14

9日(木)第2回 図書委員会が開催され、次の係について担当者を決めました。

- ① 新着図書 of 装備 (毎月)
- ② POP 作り (毎月)
- ③ 新聞ファイルの作成 (毎月)
- ④ 蔵書点検 (7月実施・14クラス)
- ⑤ 書架担当 (年次学年ごとに個人)

5月の新着図書装備は2年8組、POP作りは1年7組、新聞ファイルは1年1組になりました。また、5月は3年生が書架の整理をすることになります。

話し合いに積極的に参加し、不足している係も進んで引き受けてくれました。一年間よろしくお願ひします！



今年もツバメが！



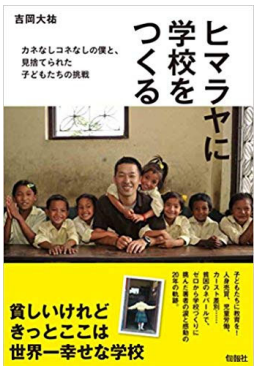
第65回青少年読書感想文コンクール課題図書



「この川のむこうに君がいる」 濱野京子 (理論社)
梨乃は、あえて同じ中学出身者のいない都内の高校を選んだ。それは、3・11の被災者であることを隠し、高校生活をまっさらな状態で始めたいと思ったからだ。大震災から三年後の、被災地から遠く離れた場所で、若い心の軌跡を追う物語。



「ザ・ハイト・ユー・ギヴ」あなたがくれた憎しみ」 アンジー・トーマス・作 服部理佳・訳 (岩崎書店)
ギャングが徘徊し、ドラッグが蔓延するゲットー(黒人街)で生まれた育った高校生の女の子スターは、10歳の時、友達が拳銃で撃たれるのを目撃していた。その後、上流階級育ちの白人の子たちが通う高校に通っていたスターだったが、ある夜、幼馴染のカリルが警官に撃たれるところを目撃してしまふ。しかし警察は、無抵抗のカリルを撃った白人警官の行為を正当化するため、カリルを極悪人に仕立て上げようとする。カリルの声になることを誓ったスターは、カリルの汚名をそそぐ為、証人として法廷に立つことを決意する。



「ヒマラヤに学校をつくる」カネなしコネなしの僕と、見捨てられた子どもたちの挑戦」吉岡大祐 (旬報社)
「ヒマラヤに学校をつくる」カネなしコネなしの僕と、見捨てられた子どもたちの挑戦」吉岡大祐 (旬報社)
タートさせ、幾多の困難に直面しながらも、2004年「クラーク記念ヒマラヤ小学校」を開校。その後ネパール大地震や病氣(ガン)などに見舞われながらも、これまで現在200人までに卒業生を送りだしている。一思いさえあれば、人はどこまでも行ける。ゼロから学校づくり挑戦だ著者の、涙と感動の20年の軌跡。

「ヒマラヤに学校をつくる」カネなしコネなしの僕と、見捨てられた子どもたちの挑戦」吉岡大祐 (旬報社)
トウガラシを体にすりこんで暖をとる、生活のために我が子を生かす。22歳でネパールに渡った著者は、そんな究極の貧困を目の当たりにして衝撃を受ける。
貧困から抜け出すには教育しかない。その支援をしたい。けれど、自分は教育者でもなければ、社会に出た経験もない。そんな自分何ができるのか……。悩み、もがきながらも貧困家庭の就学支援をス